

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
【発行日】 平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】 特表 2005-508937 (P2005-508937A)
【公表日】 平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)
【年通号数】 公開・登録公報 2005-014
【出願番号】 特願 2003-533858 (P2003-533858)
【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/122	(2006.01)
A 6 1 K	31/131	(2006.01)
A 6 1 K	31/164	(2006.01)
A 6 1 K	31/167	(2006.01)
A 6 1 K	31/192	(2006.01)
A 6 1 K	31/194	(2006.01)
A 6 1 K	31/245	(2006.01)
A 6 1 K	31/27	(2006.01)
A 6 1 K	31/327	(2006.01)
A 6 1 K	31/343	(2006.01)
A 6 1 K	31/4164	(2006.01)
A 6 1 K	31/4174	(2006.01)
A 6 1 K	31/4178	(2006.01)
A 6 1 K	31/4196	(2006.01)
A 6 1 K	31/43	(2006.01)
A 6 1 K	31/496	(2006.01)
A 6 1 K	31/505	(2006.01)
A 6 1 K	31/519	(2006.01)
A 6 1 K	31/522	(2006.01)
A 6 1 K	31/545	(2006.01)
A 6 1 K	31/5513	(2006.01)
A 6 1 K	31/56	(2006.01)
A 6 1 K	31/57	(2006.01)
A 6 1 K	31/573	(2006.01)
A 6 1 K	31/58	(2006.01)
A 6 1 K	31/59	(2006.01)
A 6 1 K	31/65	(2006.01)
A 6 1 K	31/70	(2006.01)
A 6 1 K	31/7048	(2006.01)
A 6 1 K	31/7056	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 L	27/00	(2006.01)
A 6 1 L	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)
C 1 2 N 15/09 (2006.01)
 C 0 7 K 14/47 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 37/02
 A 6 1 K 31/122
 A 6 1 K 31/131
 A 6 1 K 31/164
 A 6 1 K 31/167
 A 6 1 K 31/192
 A 6 1 K 31/194
 A 6 1 K 31/245
 A 6 1 K 31/27
 A 6 1 K 31/327
 A 6 1 K 31/343
 A 6 1 K 31/4164
 A 6 1 K 31/4174
 A 6 1 K 31/4178
 A 6 1 K 31/4196
 A 6 1 K 31/43
 A 6 1 K 31/496
 A 6 1 K 31/505
 A 6 1 K 31/519
 A 6 1 K 31/522
 A 6 1 K 31/545
 A 6 1 K 31/5513
 A 6 1 K 31/56
 A 6 1 K 31/57
 A 6 1 K 31/573
 A 6 1 K 31/58
 A 6 1 K 31/59
 A 6 1 K 31/65
 A 6 1 K 31/70
 A 6 1 K 31/7048
 A 6 1 K 31/7056
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 L 27/00 V
 A 6 1 L 31/00 P
 A 6 1 L 31/00 T
 A 6 1 P 17/00
 A 6 1 P 17/02
 A 6 1 P 17/06
 A 6 1 P 31/04
 A 6 1 P 31/10
 A 6 1 P 31/12
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 37/02
 C 1 2 N 15/00 C S P A
 C 0 7 K 14/47 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

治療的有效量の三葉型ペプチドまたは生物学的に活性なその断片を、病変または病変を予防すべき皮膚の領域に投与する工程を含む、哺乳動物の皮膚の病変を治療または予防するための方法。

【請求項2】

三葉型ペプチドが、鎮痙性ポリペプチド、pS2、または腸三葉型因子(ITF)である、請求項1記載の方法。

【請求項3】

生物学的に活性な断片が、ITF₁₅₋₇₃、ITF₂₁₋₇₃、ITF₁₋₇₂、ITF₁₅₋₇₂、またはITF₂₁₋₇₂である、請求項1記載の方法。

【請求項4】

哺乳動物がヒトである、請求項1記載の方法。

【請求項5】

ヒトが早産児である、請求項4記載の方法。

【請求項6】

病変が、外傷性病変、外科的病変、熱傷、または褥瘡性潰瘍である、請求項1記載の方法。

【請求項7】

病変が、アレルギー性反応、湿疹、接触性皮膚炎、乾癬、または座瘡である、請求項1記載の方法。

【請求項8】

病変が、細菌感染、ウイルス感染、または真菌感染によって引き起こされる、請求項1記載の方法。

【請求項9】

病変がヘルペスウイルスまたはパピローマウイルスによって引き起こされる、請求項8記載の方法。

【請求項10】

病変が抗腫瘍療法によって引き起こされる、請求項1記載の方法。

【請求項11】

哺乳動物に対して第二の治療薬または治療計画を施す工程をさらに含む、請求項1記載の方法。

【請求項12】

第二の治療薬が紫外線遮断剤である、請求項11記載の方法。

【請求項13】

第二の治療薬が抗炎症剤である、請求項11記載の方法。

【請求項14】

第二の治療薬がステロイドである、請求項11記載の方法。

【請求項15】

ステロイドがコルチコステロイドである、請求項14記載の方法。

【請求項16】

ステロイドが、フルオシノロン、ベタメタゾン、ジフルコルトロン、フルチカゾン、モメタゾン、メチルプレドニゾロン、クロベタゾール、グルココルチコイド、トリアムシノ

ロン、ヒドロコルチゾン、フルチカゾン、ブデソニド、プレドニゾン、プレドニゾロン、メチルプレドニゾロン、デキサメタゾン、およびベクロメタゾンからなる群より選択される、請求項14記載の方法。

【請求項17】

第二の治療薬が、抗細菌剤、抗真菌剤、または抗ウイルス剤である、請求項11記載の方法。

【請求項18】

抗細菌剤が、ペニシリン、セファロスポリン、テトラサイクリン、アミノ配糖体、過酸化ベンゾイル、ポビドンヨード、アゼライン酸、レチノイド、クリンダマイシン、またはエリスロマイシンである、請求項17記載の方法。

【請求項19】

抗真菌剤が、安息香酸、ウンデシレン酸アルカノールアミド、シクロピロックスオラミン、ポリエン、イミダゾール、アリルアミン、チオカルバメート、クリンダマイシン、エコナキソール、フルコナゾール、フルシトシン、グリセオフルビン、ナイスタチン、クロトリマゾール、アンホテリシンB、ケトコナゾール、エニルコナゾール、イトラコナゾール、ブトコナゾール、チオコナゾール、またはミコナゾールである、請求項17記載の方法。

【請求項20】

抗ウイルス剤がアシクロビルである、請求項17記載の方法。

【請求項21】

第二の治療薬が鎮痛薬である、請求項11記載の方法。

【請求項22】

鎮痛薬が、リドカイン、ベンゾカイン、またはオピエートである、請求項21記載の方法。

【請求項23】

第二の治療薬が、アントラリン、レチノイド、ビタミンD類似体、メトトレキサート、ベンゾジアゼピン、またはシクロスポリンである、請求項11記載の方法。

【請求項24】

三葉型ペプチドおよび第二の治療薬が同一製剤にて投与される、請求項11記載の方法。

【請求項25】

三葉型ペプチドおよび第二の治療薬が異なる製剤にて投与される、請求項11記載の方法。

【請求項26】

三葉型ペプチドおよび第二の治療薬が異なる投与経路により投与される、請求項11記載の方法。

【請求項27】

三葉型ペプチドおよび第二の治療薬が互いに24時間以内に投与される、請求項11記載の方法。

【請求項28】

三葉型ペプチドまたは生物学的に活性なその断片、および薬学的に許容される担体を含む、哺乳動物の皮膚への局所投与に適した薬学的組成物。

【請求項29】

三葉型ペプチドまたは生物学的に活性なその断片が、鎮痙性ポリペプチド、pS2、または腸三葉型因子である、請求項28記載の組成物。

【請求項30】

生物学的に活性な断片が、ITF₁₅₋₇₃、ITF₂₁₋₇₃、ITF₁₋₇₂、ITF₁₅₋₇₂、またはITF₂₁₋₇₂である、請求項28記載の組成物。

【請求項31】

粘膜接着剤または浸透圧性剤をさらに含む、請求項28記載の組成物。

【請求項32】

第二の治療薬をさらに含む、請求項28記載の組成物。

【請求項33】

第二の治療薬が抗炎症剤または鎮痛薬である、請求項32記載の組成物。

【請求項34】

鎮痛薬が、リドカイン、ベンゾカイン、またはオピエートである、請求項33記載の組成物。

【請求項35】

第二の治療薬が、抗細菌剤、抗真菌剤、または抗ウイルス剤である、請求項32記載の組成物。

【請求項36】

抗細菌剤が、ペニシリン、セファロスポリン、テトラサイクリン、アミノ配糖体、過酸化ベンゾイル、アゼライン酸、レチノイド、ポビドンヨード、クリンダマイシン、またはエリスロマイシンである、請求項35記載の組成物。

【請求項37】

抗真菌剤が、安息香酸、ウンデシレン酸アルカノールアミド、シクロピロックスオラミン、ポリエン、イミダゾール、アシルアミン、チオカルバメート、ナイスタチン、クリンダマイシン、エコナキゾール、フルコナゾール、フルシトシン、グリセオフルビン、クロトリマゾール、ケトコナゾール、エニルコナゾール、イトラコナゾール、ブトコナゾール、チオコナゾール、ミコナゾール、またはアンホテリシンBである、請求項35記載の組成物。

【請求項38】

抗ウイルス剤がアシクロビルである、請求項35記載の組成物。

【請求項39】

第二の治療薬がステロイドである、請求項32記載の組成物。

【請求項40】

ステロイドがコルチコステロイドである、請求項39記載の組成物。

【請求項41】

ステロイドが、フルオシノロン、ベタメタゾン、ジフルコルトロン、フルチカゾン、モメタゾン、メチルプレドニゾロン、グルココルチコイド、クロベタゾール、トリアムシノロン、ヒドロコルチゾン、フルチカゾン、プレドニゾン、プレドニゾロン、メチルプレドニゾロン、デキサメタゾン、ベクロメタゾン、またはブデソニドである、請求項39記載の組成物。

【請求項42】

第二の治療薬が、アントラリン、レチノイド、ビタミンD類似体、メトトレキサート、ベンゾジアゼピン、またはシクロスポリンである、請求項32記載の組成物。

【請求項43】

スプレー、軟膏、ペースト、泡状剤、ローション、ゲル、溶液、または懸濁液である、請求項28記載の薬学的組成物。

【請求項44】

三葉型ペプチドまたは生物学的に活性なその断片を含む、医療用材料。

【請求項45】

三葉型ペプチドが、鎮痙性ポリペプチド、pS2、または腸三葉型因子である、請求項44記載の医療用材料。

【請求項46】

生物学的に活性な断片が、ITF₁₅₋₇₃、ITF₂₁₋₇₃、ITF₁₋₇₂、ITF₁₅₋₇₂、またはITF₂₁₋₇₂である、請求項44記載の医療用材料。

【請求項47】

局所用ヒドロゲル被覆材、パッチ、閉塞性創傷被覆材、半閉塞性創傷被覆材、組織接着剤、縫合糸、および接着フィルムからなる群より選択される、請求項44記載の医療用材料。

【請求項48】

縫合糸が、ガット、絹糸、コラーゲン、グリコール酸ポリマー、およびナイロンからなる群より選択される材料を含む、請求項47記載の組成物。

【請求項49】

三葉型ペプチドまたは生物学的に活性なその断片が二量体の形態である、請求項1記載の方法。

【請求項50】

三葉型ペプチドまたは生物学的に活性なその断片が二量体の形態である、請求項2記載の方法。

【請求項51】

生物学的に活性な断片が二量体の形態である、請求項3記載の方法。

【請求項52】

三葉型ペプチドまたは生物学的に活性なその断片が二量体の形態である、請求項28記載の組成物。

【請求項53】

三葉型ペプチドまたは生物学的に活性なその断片が二量体の形態である、請求項29記載の組成物。

【請求項54】

生物学的に活性な断片が二量体の形態である、請求項30記載の組成物。

【請求項55】

三葉型ペプチドまたは生物学的に活性なその断片が二量体の形態である、請求項31記載の組成物。

【請求項56】

三葉型ペプチドまたは生物学的に活性なその断片が二量体の形態である、請求項32記載の組成物。